

くめなん ギカイ

News from Kumenan Town Council No. 87

久米南町議会だより 令和6年9月議会



一般質問

町政を問う

立石祐一 P 3

1. 3期目の町政運営にあたり町長の考えを問う
- ★2. 町内3小学校跡地利活用について
3. 久米南町創業支援事業について

小坂 守 P 4

1. 防災対策について
2. 委員会委員について

河原重義 P 5

1. 3期目の町長の決意及び展望、施策について
2. 教育の充実・強化と今後の取り組みについて
- ★3. 町民の切実で緊急性のある要望や依頼に対する行政対応について
- ★4. 町コミュニティセンターホール利用時におけるエアコン等の現状について

近藤賢司 P 6

- ★1. 町長選結果と3期目の町政の見通しについて
2. 小学校統合後の放課後の居場所について
3. 小学校発足後の小学校跡地の利活用について
- ★4. 子育て・教育政策について
- ★5. 医療・福祉施策について

南 直樹 P 7

1. 町制施行70周年記念事業について
2. 新庁舎になってからの防災対策について
3. 町の条例、規則の見直しについて

光元一郎 P 8

1. 保育料について
2. 基金について
3. 町債について
4. 消防団について

※ 議会だよりに掲載できなかった質問は★で表記しています。

※ 質問内容及び答弁は議員自らが作成、議員の責任で掲載しています。

質問

3期目の町政運営と創業支援事業について



一般質問

立石祐一 議員

3期目の町政運営について

問 町長は3期目を迎え、持続可能なまちづくりについて、どのように実施するか。

また投票率が過去最低だったことをどう受け止めるか。

町長 第6次振興計画にある「元氣と笑顔あふれる持続可能なまちづくり」として、1点目は行財政の健全化、2点目は広域での課題解決や効率的な行政運営、3点目は人。

投票率については、実際低かったなというぐらいだ。

問 持続可能なまちづくりをしっかりと実施してほしい。投票率の低さについて、町政に対し住民の関心が薄れているのではないかと危惧する。久米南町を町内外にしっかりとPRをしてほしい。

創業支援事業について

問 久米南町創業支援事業は、現在申請件数2件、申請手続き完了1件。採択者の紹介や事業内容について、広報紙やホームページ

ページで公表すればと考える。

また、創業支援事業の予算上限に達した以降の相談や申請には、どのように対応するのか。

産業振興課長 採択者の紹介や事業内容の公表について、町としても紹介、公表することで調整する。

創業支援事業の予算上限に達した以降の相談や申請には、予算状況については支援機関である商工会等と連携をとり行う。また上限に達した場合は翌年度での申請をお願いし、それまでの期間は申請の相談を行う。

問 町として公表する方向とのこと。令和5年12月定例議会での創業支援事業は本町に必ず必要になるとお伝えした。今年度、既に採択と申請も含め実績が出ている。是非、予算上限に達した以降の相談申請であっても、補正予算を組んでも令和6年度の申請は全て対応してもらいたい。

町長 ほかの色んな事業も、

これが予算上限に達したんだから、補正を組んでやれば良いじゃないか、ということになるので、予算の中での思っている。

問 予算内でのことだが、町が新規創業者をサポートすることは、移住・定住のきっかけとなり、空き家利活用にも繋がる。商工会をはじめ、町内商工業者の活性化にも繋がる。ただ移住するだけではなく、住み替えの際に事業をしたい、という方も幅広く本町に呼び込めるという点でも、効果のある事業。事業の内容を見直し、予算組みを柔軟に検討し、町内商工業者の活性を後押ししてほしい。

「あつい」 あついとき つめたいプール さいこうだ 佐藤 夢来





質問 防災対策・委員選出について

「あついで」 剣道し あせがポタポタ たれてくる 坂下真莉奈

小坂 守 議員

一般質問

防災対策について

問 県の調査により、大規模災害時、孤立の可能性のある集落が岡山県で753箇所、当町は48集落のうち15集落が孤立の可能性が示された。町として対象集落を把握しているか。

総務企画課長 中山間地等の集落散在地域における孤立集落発生の可能性に関する状況調査のひとつで、本町から県へ提出したものが地方紙に掲載されたもので、十分把握している。孤立集落発生の可能性と、当該集落への全てのアクセス道路の一部区間が、土砂災害警戒区域、または土砂災害特別警戒区域に隣接している場合と定義されている。

問 孤立対象集落には周知しているのか。以前土砂災害特別警戒区域が指定された時は各地域で説明会がなされたが、孤立対象集落についての説明会は開催されるのか。

総務企画課長

県が土砂災害警戒区域等の指定にあたり説明会を開催している。当該地域については地質等によるものでなく、地形、勾配により指定されたもので、ご自分の住まいの場所がその当該区域になったかどうかの説明会のなかで十分説明をされたと認識している。本年4月、町の広報紙とともに全戸配布したハザードマップに土砂災害警戒区域などを記している。日頃の備えをお願いしたい。

問 緊急時に利用できるヘリコプターの離発着場の有無は。

総務企画課長 ドクターヘリについては町民運動公園の一部施設を指定している。災害などの緊急時には電線など無くスペースがあれば、ヘリコプターが離発着できると認識している。

問 災害調査等に利用できるドローンの導入は検討しているのか。

総務企画課長 導入予定はない。

い。町でドローンを一台保有しており、様々な業務に利用している。大規模災害時は町と災害協定を締結している民間企業の支援も想定している。

委員の選出について

問 行政が各種施策を推進するにあたり、多くの委員会が設置されている。行政が地域、自治会に委員の選出を依頼する委員会名を伺いたい。

総務企画課長 総務企画課関係では美咲交通安全協会久米南支部の理事、一部、国の指定統計調査員。保健福祉課関係では愛育委員、栄養委員。産業振興課関係では損害評価員、建物農機具共済推進員。建設水道課関係では水道検針員。

問 委員の担い手不足で、一人の方が委員を兼任されるケースが見られる。法令により統廃合の難しい委員会もあるとは思いますが行政の努力で可能な部分もあるのではと考える。検討をお願いしたい。

質問 持続可能な町づくりについて



河原重義 議員

一般質問

町長の決意について

問 3期目に臨むにあたり、今後の持続可能な町政運営を、どのようにして行くのか。確認を含めて聞いていく。

4本の柱を中心として、行財政改革等を推進しつつ「第6次久米南町振興計画」を進めるということだが、財政的には多くの費用を要する事業が山積している。

学校統合に伴う新校舎の建設、運動公園体育館、保健センター、文化センター等の老朽化に伴う維持管理費の増大、及び改修費用の増大。これらが財政を圧迫してくると考える。大胆な財政改革をしなければならぬのではないか。今後の見通しはどのように考えているのか。

高齢者対策も極めて重要だ。健康で暮らせる町であるためにも、高齢者がより楽しく取り組める生涯活動への具体的な援助も必要だ。考えを伺う。

町長 子育て施策では、小中

「あついで」 あせかいた アイスイっぱい たべたいな

学校の給食費無償化を、来年度以降も継続する。出産祝い金の第4子以降の拡充にも取り組む。

子供たちの20年、30年後を見据えた町づくりに取り組んでいきたい。

また、人生100年時代、健康であることが大切だ。健康作りへの取り組みを引き続き行うと共に、介護予防教室の実施、「フレイル」の予防に力を入れていきたい。

高齢者保健福祉計画、第9期介護保険事業計画の基本理念を踏まえ、潤いのあるまちづくりの実現をめざしていきたい。

教育の充実・強化について

問 全国学力調査、岡山県学力学習調査における本町の児童生徒の調査結果について、教育長の所見を伺う。

教育長 4月の段階では、一喜一憂することは本来の趣旨に沿わないものであると認識している。

今回の調査で全国、県平均を

下回っている教科があることは、きびしく受け止めている。各学校において学習内容等を明らかにし、教科指導の充実及び改善に取り組んでいく。

全国、県平均を上回っている教科のうち、国語においては、児童生徒の頑張りはもちろんのことだが、今まで取り組んできた教育活動や、地域の方にお力添えをいただいている放課後学習、川柳教室、久米南学、キャリア教育、地域教育といった活動が、「言葉を使った思考力の育成」にもつながっているものと考えている。

問 小中一貫校の設立も目前に迫り、今後も教職員と地域一体で、子供たちを見守っていききたいと考える。



岸本 美遥



小学校統廃合後の放課後の子ども の居場所と跡地活用について

質問

一般質問

近藤賢司 議員

「あつい」 もう暑い 日が出るまえから むし暑い 日笠 陽菜

問 今年3月議会において、

新小学校の校舎建設にあたり、一体的に検討されるべき放課後の子ども居場所（放課後児童クラブ）の開設場所について伺ったが、教育課長、保健福祉課長からは今後協議・検討してまいりたいとの答弁であった。その後の検討結果を伺う。

保健福祉課長 統合後の放課後児童クラブについては現在、利用人数等の状況を踏まえ、設置場所を検討している。方針が定まり次第、速やかにお知らせしたい。

問 3月時点で「検討してまいります」と答えて、既に半年が経っている。十分な検討がなされておらず残念である。早期に検討し、場所を決めていただきたい。

例えば一箇所にする場合、中学校敷地内に設置するか、あるいは経済的なことを考えれば、弓削小学校の跡地活用ということも考えられる。その二者択一

ではないか。

また、例えば現小学校区にそれぞれ一箇所設置する場合、現小学校跡地の一角に設置すれば3箇所ある。さらに、弓削地区については、弓削小学校か中学校敷地内の活用の是非も問うべきである。

以上の選択肢を置いて、十分検討され、結論を早く出していただきたい。そうしないと各地域の跡地活用について、具体案が作成できないではないか。

町長から「跡地活用については十分な時間を掛けて検討していきたい」とあったが、2年、3年はすぐに経ってしまう。住民の合意を得る手続きも必要である。そのあとに具体的な計画もしないといけない。再三、私たちも質問してきたが、課長、町長はどう考えているのか。

保健福祉課長 早急な検討を、ということであるが、小学校の跡地利用について、10月末まで自治会からの意見集約をする。

それを考慮しながら検討してまいりたい。

問 今年2月に町内の自治会に対して、地域住民の意見の取りまとめを文書で依頼された。この意向調査で、各自治会から出された要望に対して、できることとできないことの詳細を、各自治会に対して、いつ返答されるのか。さらに、意見集約された結果を受け、跡地活用についての素案を、いっような形で提示されるのか。

総務企画課長 自治会連合会で33の自治会長の皆様にお願いをした。その取りまとめの結果を、まずは自治会長の皆様にお伝えしたい。こういった形でお返しするかは未定である。今後検討していきたい。

問 早く提出された自治会は3月に提出されており、返答を半年間も待っている。具体的なお返しを、丁寧に、早急にお願したい。



町制施行70周年記念事業、防 災対策について

質問

一般質問

南 直樹 議員

記念事業について

問 11月23日に500万円の予算規模で、記念事業をされるとのこと。内容についてお聞きしたい。

町長 本年4月に70周年を迎え、記念式典を開催するよう計画している。

記念式典の席上では、町政進展にご尽力いただいた方々を表彰することも計画している。

防災対策について

問 新庁舎の防災対策・訓練についてどのように考えているかお聞きしたい。

総務企画課長 消防計画に、職員を対象とした防災教育の実施、消火・避難誘導等を連携して行う総合訓練の実施を定めている。消火設備等の取り扱いの他、通報や避難誘導等を含めた訓練を行う予定。また、地震への対応など、様々な訓練を通し、有事の際に備えたいと考えている。

問 災害対策本部と消防団と

の連携体制、マニュアルなどがあるのかお聞きしたい。

総務企画課長 災害対策本部は、町災害対策本部条例、同規定のほか、災害発生時の職員初動マニュアルなどに規定されている。消防団との連携は、先月の台風10号の際、警戒態勢をひき、防災無線等を通じて町民にお伝えし、特別態勢への移行に備え、消防団長と情報を共有した。

問 災害などの情報発信として、防災無線の他にSNSも活用されているが、現在の登録者数と、増やす為に何かされているのかお聞きしたい。

総務企画課長 LINE 545名、登録制メール216名が登録。

周知は、ハザードマップ、町の公式ホームページにQRコードを含め掲載している。

問 この度の台風の避難所には、飲料・食料は各自持参とのことだったが、現在備蓄はどの

ようになっているのか。

総務企画課長 飲料水500ml 240本、食料2100食分、毛布262枚、粉ミルク800mg 2缶の他、生理用品や紙オムツ、簡易トイレ、トイレットペーパーなどを備蓄している。

町条例・規則等について

問 町条例や規則の検討・見直しはどのようにされているのか。

総務企画課長 職務を遂行する上で、所要の改正等を要する場合、所管課から副町長を委員長とする「法令審査委員会」に付し、審議のうえ改正手続きを行う。また、予算審議のなかで、新たな制度創設に伴う例規整理が必要な場合も同様だ。

改正を含む条例制定案が、町民へ義務を課するもの、権利を制限することとなるものについては、原則30日間の意見公募を行い、その結果に基づき手続きを行うこととしている。

「あつい」 暑い日に アイスぴったり ひっやひや 片岡

瑞稀



保育料・基金・町債・消防団に ついて

質問

一般質問

光元一郎 議員

「あついで」 あついても 元気にあそぶ こう目っこ 椎橋 完太

保育料について

問 保育料の無償化を。

令和5年度の保育料総額は548万円で、0、1、2歳児の保護者から集金した金額。これが無償化できれば、これから子供を産もうとする家庭や移住を検討する方にとって、大きな目玉となるのではないかと。現在、出産あるいは節目の助成金、給食費の無償化と、子育てには他の市町村より優位にはなっているが、徹底して行っているかどうか。また本年度の出生見込みは10人で、危機的状況にある。出産子育てにもっと重点を置いてほしい。

保健福祉課長

現在3歳以上の保育料はすべて無料で、3歳未満の保育料は国の基準の55パーセント程度に設定し、町独自に軽減を図っている。無償化することは子育て世帯の経済的負担の軽減を図るうえで大きな施策となるが、財政負担も大きく、他の自治体の状況について調査研究したい。

基金について

問 土地開発基金について使途がないのでは。

一般家庭であれば老後に備えて貯金は多い方がいい。企業であれば将来の設備投資に、また社会情勢の変化に備えて積立金を持っておかなければならないが、自治体がそこまで持つ必要はないと考える。

産業振興課長

土地開発基金は、公用、公共用に供する土地、又は公共の利益のために取得する土地を先行取得するための基金であり、現在、町営分譲地の取得等に使用している。今後の使途は社会情勢等を注視しながら、必要に応じ検討する。

町債（町の借金）について

問 上下水道を含めた町債の残高と交付税算入予定額を差し引いた実質の残高を聞く。

実質将来負担額21億8700万円に対し、基金の総額は30億円を超えており、もちろん基金は使途が限定されたものも多く、

ひとまとめにはできないが、もっと事業ができたのではないかと推測できる。

総務企画課長

町が行う事業の中で町債の発行が可能な事業については、国や県と協議し交付税算入されるものを原則として借入しており、種類により全額あるいは7割から3割が算入される。5年度の決算では起債残高は52億4499万円で、交付税算入額を差し引くと、21億8700万円となる。

消防団について

問 OBによる予備団員制度はできないか。

消防団員のいない自治会や、団員はいるが、昼間は勤めに出ているといった自治会が増えてきた。近所で火事が発生しても、指をくわえてみているのは心情的に許せない。初期消火の手伝いができるものと考えている。

総務企画課長

総務省には機能別消防団員制度がある。消防団や関係審議会に諮りたい。

くめなん“ギカイ”コラム



テーマは『決算認定』です

9月議会定例会って？

議会定例会は、通常、年4回開催され、6月、9月、12月、3月に開催されます。9月議会は、毎年開催する定例会の一つで、決算認定に関する議案などが審議されます。

そもそも
決算って
なあに？

地方公共団体における決算とは、一会計年度の歳入歳出予算の執行結果や実績を表示する計数（表）です。会計管理者が調製する決算書は、地方自治法（以下、法という。）に基づき作成しています。

決算事務の概要

(1) 出納の閉鎖

(2) 決算の調製

(3) 監査委員の審査

(4) 議会提出

(5) 決算の認定

(6) 町民への公表

議会が、一会計年度の歳入歳出予算の執行の実績である決算について、その内容を審査した上で、収入・支出が適法かつ正当に行われたかどうかを確認することをいいます。

長は、監査委員の審査意見を付けて、次の通常予算を審議する会議までに、決算を議会の認定に付さなければならないものとされています。

決算審査の結果、法令等の違反など重大な問題が発見されたような場合には、議会としてこれを不認定とすることもあります。仮に認定しなかった場合には、長の政治的、道義的責任が問われるかもしれませんが、すでに行われている予算執行の効力には何ら影響しないものと解されています。

岡山県町村議会議員研修会

8月5日(月)、岡山プラザホテルにおいて、町村議会議員研修会が開催されました。研修会では、元廿日市市副市長の川本達志氏より、「政策提言につなげる質問」の演題で講演があり、一般質問について、自己主張型、責任追及型よりも、地方議会においては「政

策提案型」に重きを置くべきであり、そのためには、現状を認識した上で、課題解決に向けて行政的にやるべきことを抽出していき、実現できるような提案をすることが大切だと述べられました。

山口県和木町視察研修会

10月17日(木)、山口県より、和木町議会の皆様が、視察研修に来庁されました。杉本議長が歓迎の挨拶を行いました。研修では、庁舎等複合施設、文化センター、図書館について、総務企画課、教育課の担当より、施設内容や、建設までの経緯、現



在の状況等、説明がされました。現地見学も行い、質問やご意見としては、建設にあたっての財源や、必要な会議の開催や図書館の利用等、今後、庁舎等の建設に向けて非常に参考になったとの声をいただきました。

監査委員研修

町村監査委員全国研修会が10月22日から2日間、東京都のLINE CUBE SHIBUYA (渋谷公会堂)で開催され、

森崎監査委員と光元監査委員が参加しました。大森教授、公認会計士の講演があり、そのうち、元神奈川県常任監査委員の講師からは、行政の目的の達成を見る「有効性」や、「効率性」「経済性」の観点から監査を行い、違和感があるときは、複数箇所を比較し、事象の発掘を試みる事が重要と話されました。



編集後記

石川県能登半島地域では9月22日に線状降水帯による大雨となり、大水害を被る結果となりました。今年1月1日に起こった能登半島大地震に重ねての大災害でありました。災害により、亡くなった方へのご冥福をお祈りすると共に、被災した地域の一刻も早い復旧、復興を望みます。また、地球温暖化による災害の多発と共に、農作物への被害も大きくなりつつあります。その自然災害への周到な備えをすることが益々重要課題となっています。久米南町議会もその備えのあり方について論議を深め、災害による被害を最小限に抑え、止める施策の充実に向け、努力して参りたいと思っております。

結びに、町民の皆様には、これから寒さも一段と身にしみる季節となりますが、どうかご健康にご留意され毎日を送られますことをご祈念申し上げます。

(近藤 賢司)

議会広報編集委員会

立石祐一 ・ 近藤賢司
小坂 守 ・ 河原重義

久米南町議会だより第87号 (令和6年11月15日発行)

【編集】議会広報編集委員会 【発行】岡山県久米南町議会
岡山県久米郡久米南町下弓削502-1 Ⅱ 086-728-2112

